

日本図書館情報学会会報

No. 130

2008年6月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/index.html>

郵便振替口座: 00160-5-45759 (口座名義=日本図書館情報学会)

新会長就任のご挨拶と今年度の方針

根本 彰(東京大学)

昨年秋の役員選挙で会長に推挙され、上田修一前会長の後を受けて3年間会長を務めることになりました。重責とは思いますが、新しい役員の皆様のご協力を得て学会ならびに図書館情報学の発展のために力を尽くしたいと思います。

本学会は成立後55年を経過したところです。この間、先輩会員諸氏の努力が積み重ねられ、現在に至って、ようやく学会らしい形式と活動内容を併せ持つことができるようになりました。また、会員の研究支援を目的とする活動以外の対社会的な活動を行うかどうかというような新しい課題も生じています。こうしたことから本期の課題は基本的な活動の一層の充実と新しい展開への手がかかりを見出すことにあると認識しています。

本年度は、これまで積み上げられてきた会員の研究活動の支援体制を継続することを第一にします。学会誌の刊行、研究大会の開催、会報の発行、フロンティアシリーズの編集・発行、研究助成、学会賞・学会奨励賞・学会貢献賞の授与などです。なお、春季研究集会は本年3月に開催し、次回は来年5月の予定なので今年度はありません。また、文献目録データベースについては、過去に inputs 経費をまかなってきた科学研究費を2年続けて獲得することができなかつたために、今年度は新たなデータ入力を行わずインターネットでの提供だけを行い、1年かけて今後のあり方について検討いたします。

前期で検討した図書館情報学検定試験の実施の提案に対して、今年度も継続して検討し、学会がどのようにかかわっていくべきなのかについても結論を出したいと考えます。

来年2009年3月に、本学会も共催団体の一つになっている Asia-Pacific Conference on Library & Information Education & Practice (A-LIEP 2009) が開催されます。多くの会員に参加していただきたいと思ひます。これに合わせて、本学会の国際的なプレゼンスを高めるために英語版のホームページを作成するなどの試みを行う予定です。

ところで、会員が増え学会活動が活発になるにつれて、学会の財政規模も大きくなっており、収支のバランスを保持することが難しくなっています。安定した運営を行うには支出の見直しとともに安定した収入源の確保が必要です。実は過去2年間の学会の一般会計が単年度で見れば大幅な赤字であったことが判明しております。主たる原因は学会誌のページ増と会報の発行回数増と考えられます。本年度の事業案および予算案はそれを前提にして、可能な限り切りつめたものになっています。会報の発行を少なくするなどご不便をおかけするところもあるかもしれません。しかし、研究支援を旨とする学会としては学会誌刊行などの基本的部分について無理に切りつめることは避けたいという考え方もあります。

こういうことから、今年度は学会財政の健全化の方法と学会活動の今後の方向を探るための調査活動を行います。すでに、通信総会の葉書がこの問題についての会員アンケートを兼ねるものとなっています。この調査によって今後の方向を明確にし、今年度から来年度にかけていくつかの改革案を提案できればと考えております。

以上のとおりで、あまり前向きな提案ができないことが残念ですが、ここ1～2年はまず学会活動の

インフラを整備することを目標にするつもりです。ご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。

2008年度～2010年度常任理事の役割分担(一部)

会長 根本彰(東京大学)
副会長・学会賞選考委員長 糸賀雅児(慶應義塾大学)
常任理事・編集委員長 吉田右子(筑波大学)
常任理事・研究委員長 岸田和明(慶應義塾大学)
常任理事・検定試験実行可能性検討委員長 竹内比呂也(千葉大学)
常任理事 田村俊作(慶應義塾大学)
常任理事・国際委員長 三輪眞木子(メディア教育開発センター)
常任理事・総務委員長, 事務局長 池内淳(会長指名常任理事, 筑波大学)

2008年度 定例(通信)総会

正会員 各位

日本図書館情報学会会長 根本 彰

記

投票期日： 2008年6月20日(金)(当日の消印までを有効とする)

議題： 第1号議案 2007年度事業報告
第2号議案 2007年度決算報告および会計監査報告
第3号議案 2008年度事業計画案
第4号議案 2008年度予算案

【第1号議案】 2007年度事業報告

1. 2007年度総会の開催

(1) 定例(通信)総会

議案に対する投票締切日を2007年6月16日(土)として実施し、全議案が成立した。

(2) 臨時総会

2007年10月14日(日)、鶴見大学(神奈川県横浜市)を会場として開催した。

2. 第55回研究大会の開催

第55回日本図書館情報学会研究大会を、2007年10月13日(土)～14日(日)の2日間、鶴見大学(神奈川県横浜市)にて開催した。発表31件、参加者275名であった。

3. 2008年春季研究集会の開催

2008年3月29日(土)、東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)を会場として開催した。発表32件、参加者234名であった。

4. 研究大会におけるシンポジウムの開催

鶴見大学で開催された第55回研究大会2日目の午後に、「エビデンスベーストアプローチに基づく図書館情報学研究法」と題してシンポジウムを開催した。

5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

第53巻 第2号(2007年6月号)

第53巻 第3号(2007年9月号)

第53巻 第4号(2007年12月号)

第54巻 第1号(2008年3月号)

を発行した。

6. 会報の発行

No. 125(2007年4月)

No. 126(2007年6月)

No. 127(2007年9月)

No. 128(2007年11月)

No. 129(2008年2月)

を発行した。また、電子メール版を会報と同時期に発行した。

7. 「シリーズ・図書館情報学のフロンティア」の刊行

No. 7『学術情報流通と大学図書館』(編集責任者:倉田敬子氏)を2007年10月に刊行した。また、No. 8『変革期における公共図書館のあり方(仮)』(編集責任者:荻原幸子氏)の編集を進めている。

8. 図書館情報学文献目録データベースの編集・提供

データベースの作成を継続し、新システムの調整・修正を行った。

9. 広報・渉外活動

(1)学会のホームページの提供内容の拡充を図った。

(2)他団体からの案内等を掲載する会員向けメールマガジンのNo. 132~150を発行し、希望者に配信した。

10. 日本図書館情報学会賞/奨励賞

(1) 2007年度日本図書館情報学会賞

図書館情報学の進展に寄与する正会員の優れた著作で2005年度もしくは2006年度に刊行されたものを対象として選定を行い、「日本図書館情報学会賞」を授与した。

・学会賞

谷口祥一氏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

受賞著作:A Conceptual Modeling Approach to Design of Catalogs and Cataloging Rules. ひつじ書房, 2007. 317p.

和田敦彦氏(早稲田大学教育学部)

受賞著作:『書物の日米関係:リテラシー史に向けて』新曜社, 2007. 406p.

(2) 2007年度日本図書館情報学会奨励賞

図書館情報学の進展に寄与する個人会員の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第52巻第2号から第53巻第1号までに掲載されたものを中心に、若手研究者の優れた業績を優先的に評価し、「日本図書館情報学会奨励賞」を授与した。

・学会奨励賞

林炯延氏(梨花女子大学生涯学習センター)

受賞論文:「韓国公共図書館の読書教育プログラムにおける構成主義教授学習モデルの教育効果観察調査」『日本図書館情報学会誌』Vol. 52, No. 3, September 2006, pp. 135-151.

嶋田拓哉氏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程)

受賞論文:「電子資料を対象にしたFRBRモデルの展開」『日本図書館情報学会誌』Vol. 52, No. 3, September 2006, pp. 173-187.

11. 学会活動貢献賞

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与した。

・学会活動貢献賞

池内淳氏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

受賞理由:日本図書館情報学会ウェブサイトの運営管理をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による。

12. 研究助成の募集ならびに交付

総額30万円を1~2件に交付することとして公募要領を定め、2007年5月末を期限に募集した。10件の応募があり、審査基準に基づいて審査した結果、次の会員に交付することとした。

研究代表者：寺井仁氏(名古屋大学附属図書館研究開発室)
研究題目：プランニングが情報探索プロセスに及ぼす影響の検討

13. 学会運営の電子化

- (1) 学会ホームページを使った情報提供活動の充実を図った。
- (2) メールマガジンの発行など、その他の広報活動を進めた。
- (3) 役員選挙、通信総会において、電子投票を初めて導入した。

14. 学会誌の電子的提供

日本図書館情報学会誌の掲載論文のPDF化を進めると共に、NII-ELSを通じて、会員には無料で、一般には有料(3年以前の雑誌はサイトライセンス、5年以前は無料)で電子版の提供を継続した。

15. 『図書館情報学用語辞典』の刊行

『図書館情報学用語辞典』第3版(編集責任者：戸田愼一氏)を刊行した。

16. 役員選挙の実施

2008年度～2010年度を任期とする役員選挙を実施した。

17. 科学研究費による共同研究(EBA)の推進

日本学術振興会科学研究費補助金による「エビデンスベーストアプローチによる図書館情報学研究法の確立」(2006年度～2007年度)に関する共同研究を「EBA研究実行委員会」のもとで実施した。

18. 「検定試験実行可能性検討委員会」の設置と検定試験の検討

委員会を設置し、検定試験の実行可能性に関する調査を行った。

19. A-LIEP 2009の共催の決定

2009年3月に開催される、2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議(A-LIEP 2009)の共催団体となることを決定した。

20. 理事会・常任理事会の開催

(1) 理事会

第1回	第2回
2007年5月19日(土)14:30～16:30	2007年10月14日(日)12:15～13:30
慶應義塾大学	鶴見大学

(2) 常任理事会

第1回	第2回	第3回
2007年4月24日(土)	2007年7月29日(土)	2007年1月25日(金)
10:30～12:30 慶應義塾大学	14:00～16:00 慶應義塾大学	9:30～10:30 慶應義塾大学

21. 委員会の開催

(1) 学会賞選考委員会

第1回	第2回
2007年7月14日(土) 慶應義塾大学	2007年9月20日(木) 東京大学

(2) 編集委員会

第1回	第2回
2007年6月14日(木) 青山学院大学	2007年9月19日(水) 青山学院大学
第3回	第4回
2007年12月20日(木) 青山学院大学	2008年3月6日(木) 青山学院大学

(3) 研究委員会

第1回

2007年5月26日(土) 慶應義塾大学

第3回

2008年1月25日(金) 慶應義塾大学

第2回

2007年10月14日(日) 鶴見大学

(4) 文献目録委員会

第1回 2008年3月8日(土) 慶應義塾大学

22. 会員現況(2008年3月31日現在)

名誉会員(1)

正会員(670)

学生会員(81)

団体会員(48)

賛助会員(4)

【第2号議案】 2007年度決算報告および会計監査報告

【一般会計】

(収入の部)

項目		予算(円)	決算(円)	摘要
1. 会費	正会員	3,285,107	3,588,000	正会員 5,000×715人+6,500×2
	学生会員	176,000	148,000	学生会員 2,000×74人
	団体会員	750,000	740,000	団体会員 15,000×49機関+国立国会図書館納本分
	賛助会員	380,000	150,000	賛助会員 50,000×3機関
	入会金	50,000	50,000	50件
2. 広告料	広告料	280,000	310,000	25,000×4件+30,000×7件
3. 学会誌売上代金	学会誌売上代金	1,837,500	1,592,500	
4. 春季研究集会参加費	春季研究集会参加費	170,000	506,000	2007年度 会員・非会員参加費 504,000 要綱売上 2000
5. 雑収入	雑収入	45,000	48,059	利息・利子 1,327 科学技術振興機構 3,360 電気電子情報学術振興財団著作権使用料 42,918 その他 454
6. 前年度繰越金	前年度繰越金	608,456	608,456	
	合計	7,582,063	7,741,015	A

(支出の部)

項目		予算(円)	決算(円)	摘要
1. 事務費	消耗品	100,000	107,322	文具 封筒
	送料	665,000	596,370	学会誌 53巻2号～54巻1号 ※発送委託費用含む 会報 125号～会報 129号 その他(宅配便代)
	通信費	100,000	157,174	切手代, EXPACK代, はがき代(通信総会用はがき・印刷代を含む), 郵便小包代, 宅急便代, 送金手数料, 現金封筒代, 振込手数料
	会費徴収手数料	62,000	61,640	郵便振替加入者負担金
	交通費・旅費	663,000	440,000	理事会 29,500 常任理事会 230,500 会計監査 42,000 事務局職員通勤 74,000 その他研究大会一部 64,000
	人件費	780,000	827,700	事務局職員 会報発送作業謝金
	会議費	50,000	28,196	理事会 会計監査

2. 委員会経費	研究委員会	156,000	110,000	交通費 109,000 通信費 1,000
	編集委員会	443,000	392,137	交通費 141,500 通信費 88,900 会議費 39,690
	文献目録委員会	490,000	300,000	消耗品費 116,499 その他 5,548
	総務委員会	44,000	30,000	レコード作成費 300,000
	用語辞典編集委員会	64,000	140,448	交通費
	選挙管理委員会	204,500	194,641	書籍代
	検定試験実行可能性検討委員会	10,000	0	
3. 印刷費	学会誌印刷費	3,000,000	3,307,500	53 巻 2 号 714,420, 53 巻 3 号 899,640, 53 巻 4 号 740,880, 54 巻 1 号 952,560
	学会誌電子化費用	21,000	21,000	
	会報印刷費	225,000	228,270	125 号 46,620 126 号 71,400 127 号 48,090 128 号 31,920 129 号 30,240
	振替用紙印刷費	0	9,450	
4. 研究大会／集会	研究大会	300,000	300,000	拠出金 300,000
	研究大会シンポジウム	10,000	0	
	春季研究集会	170,000	394,048	2007 年度 事務費 236,548 資料作成費 157,500
5. 予備費	予備費	24,563	0	
合計		7,582,063	7,645,896	B
次年度繰越金			95,119	A-B

(次年度繰越金内訳)

郵便局振替口座	20,477
郵便貯金口座	8,620
常陽銀行普通預金口座	80,726
現金	27,244
未収入金	119,815
未払い金	161,763
合計	95,119

【特別会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	摘要
印税	400,000	557,196	丸善 376,580 勉誠出版 180,616
文献DBレコード 使用料	0	158,840	
雑収入	1,000	1,715	利息 1,715
前年度繰越金	1,509,555	1,509,555	
合計	1,910,555	2,227,306	A

(支出の部)

項目		予算(円)	決算(円)	摘要
研究助成金	研究助成金	300,000	295,000	研究助成金 295,000
学会賞	副賞	300,000	300,000	学会賞 200,000, 奨励賞 100,000
	賞状作成	15,000	29,768	賞状・賞状筒・宅急便代
	選考委員会	50,000	19,356	交通費 15,000 会議費 1,206 書籍代 3,150
	学会活動貢献賞	50,000	50,000	学会活動貢献賞 50,000
『図書館情報学のフロンティア』編集費		100,000	46,964	非学会員謝礼(10,000×4件) 書籍代6,804 通信費 160
通信費		2,000	1,155	振り込み手数料
予備費		1,093,555		
合計		1,910,555	742,243	B
次年度繰越金			1,485,063	A-B

(次年度繰越金内訳)

常陽銀行普通預金口座	1,295,808
現金	48,807
未収入金	140,448
合計	1,485,063

2007 年度監査報告

2008 年 5 月 2 日、事務局において会計監査を実施いたしました。その結果事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告します。

2008 年 5 月 2 日

監事 古賀節子 印
阪田蓉子 印

【第 3 号議案】 2008 年度事業計画案

1. 2008 年度総会の開催

(1) 定例(通信)総会

議案に対する投票締切日を 2008 年 6 月 20 日(金)として実施する。

(2) 臨時総会

2008 年 11 月 16 日(日)、帝塚山大学(奈良県奈良市)を会場として開催する。

2. 第 56 回研究大会の開催

第 56 回日本図書館情報学会研究大会を、2008 年 11 月 15 日(土)～16 日(日)の 2 日間、帝塚山大学(奈良県奈良市)にて開催する。

3. 研究大会におけるシンポジウムの開催

研究大会 2 日目午後に、「情報リテラシー教育に対する図書館の可能性(仮)」をテーマとしてシンポジウムを開催する。

4. A-LIEP 2009 の共同開催

2009 年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議(A-LIEP 2009)を、2009 年 3 月 6 日(金)～8 日(日)の 3 日間、筑波大学(茨城県つくば市)にて共同開催する。

5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

第54巻 第2号(2008年6月号)

第54巻 第3号(2008年9月号)

第54巻 第4号(2008年12月号)

第55巻 第1号(2009年3月号)

を発行する。

6. 会報の発行

No. 130(2008年6月)

No. 131(2008年10月)

No. 132(2009年2月)

を発行する。また、電子メール版および電子メール速報版を発行する。

7. 「シリーズ・図書館情報学のフロンティア」の刊行

No. 8『変革期における公共図書館のあり方(仮)』(編集責任者：荻原幸子氏)を刊行する。また No. 9『情報アクセスの新たな展開：情報検索・利用の最新動向(仮)』の編集を行う。

8. 学会賞ならびに学会奨励賞の選考および授与

(1) 図書館情報学の進展に寄与する正会員の優れた著作で2006年度もしくは2007年度に刊行されたものを対象として、「日本図書館情報学会賞」を授与する。

(2) 図書館情報学の進展に寄与する個人会員の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第53巻第2号から第54巻第1号までに掲載されたものを中心に、若手研究者の優れた業績を優先的に評価し、「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。

9. 学会活動貢献賞

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与する。

10. 研究助成の募集ならびに交付

図書館情報学振興のために、会員が個人としてあるいはグループとして計画した研究1件ないし2件に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

11. 学会運営の電子化

(1) 学会ウェブページ、電子メール版会報、メールマガジンなど情報提供活動の充実を図る。

(2) 電子投票の可能性について引き続き検討を行う。

12. 英語版ホームページの作成

国際委員会を設置し、英語版ホームページを作成する。

13. 学会誌の電子的提供

日本図書館情報学会誌の掲載論文のPDF化を進めると共に、NII-ELSを通じて、会員には無料で、一般には有料(3年以前の雑誌はサイトライセンス、5年以前は無料)で電子版の提供を継続する。

14. 検定試験の検討

臨時委員会の答申に基づいて2007年度に設置された「検定試験実行可能性検討委員会」については、2008年度も委員会を存続し、検定試験の実行可能性についての調査を継続する。

15. 今後の学会運営に関する調査と正会員に対する意見聴取

学会の財政の立て直しと今後の学会活動の検討を目的として調査を行う。またそのために通信総会の場を借りて正会員への意見聴取を行う。

【第4号議案】 2008年度予算案

【一般会計】
(収入の部)

項目	予算 (円)	備考
会費		
正会員	3,540,000	5,000×670人(現会員)+5,000×38人(新入会員40人-退会25人+未収分のべ23人)
学生会員	172,000	2,000×81人(現会員)+2,000×5人(新入会員10人-退会5人)
団体会員	720,000	15,000×48機関(現会員)
賛助会員	200,000	50,000×4機関(現会員)
入会金	50,000	1,000×50件
広告料	250,000	30,000×5件+25,000×4件(Vol.53, No.2~Vol.54, No.1)
学会誌売上代金	1,592,500	定期購読10,000×仕切0.7×150セット 計¥1,050,000 バックナンバー売上2,500×仕切0.7×310部 計¥542,500
雑収入	45,000	NII著作権使用料等
前年度繰越金	95,119	
合計	6,664,619	

(支出の部)

項目	予算 (円)	備考
事務費		
消耗品	100,000	封筒50,000 文具・宛名シール他50,000
刊行物送料	565,000	学会誌90,000×4号分※発送委託含む 会報(60,000×2号分+6月号85,000)
通信費	160,000	切手代 EXPACK 総会はがき代(印刷代含む) 郵便代 振込手数料 その他(宅急便代)
会費徴収手数料	85,300	郵便振替加入者負担金
交通費・旅費	417,000	理事会269,500 常任理事会22,500×3回 会計監査10,000 事務局職員通勤手当他70,000
人件費	828,000	事務局職員給与69,000×12
会議費	52,000	理事会45,000 常任理事会5,000 会計監査2,000
委員会経費		
研究委員会	132,500	委員交通費42,500×3回 通信費5,000
編集委員会	400,000	交通費54,500×4回 通信費(原稿送付郵送代2,000×40本+その他10,000) 会議費40,000 消耗品費21,000 その他(非会員査読者謝金7,000×3件 雑費10,000)
総務委員会	17,500	交通費17,500
検定試験実行可能性検討委員会	10,000	交通費10,000
国際委員会	80,000	交通費15,000×2回 英文校閲料50,000
印刷費		
学会誌	3,200,000	800,000×4号
学会誌電子化費用	21,000	学会誌53巻2号~54巻1号PDF化作業料5,000×4号分+消費税1,000
会報	250,000	150,000(6月号分: 通信総会用葉書および葉書印刷代含む)+50,000×2号分
学会費振込用紙	12,285	900枚
研究大会	300,000	研究大会事務局への支援拠出金
研究大会シンポジウム	10,000	非会員パネラー交通費・謝礼10,000

予備費	24,034	
合計	6,664,619	

【特別会計】
(収入の部)

項目	予算 (円)	備考
印税	100,000	「フロンティア」他
雑収入	1,000	利息等
前年度繰越金	1,485,063	
合計	1,586,063	

(支出の部)

項目	予算	備考
研究助成金	100,000	1件ないし2件に配分予定
学会賞/副賞	150,000	学会賞 100,000, 学会奨励賞 50,000
学会賞/賞状作成	15,000	
学会賞選考委員会	50,000	交通費(15,000×2回), 資料代 10,000, 会議費 10,000
学会活動貢献賞	50,000	学会活動貢献賞 50,000
『図書館情報学のフロンティア』編集費	60,000	通信費 15,000, フロンティア購入費 45,000
通信費	2,000	振り込み手数料
予備費	1,159,063	
合計	1,586,063	

◇◇◇◇◇◇◇◇ 2008年度定例(通信)総会議案おわり ◇◇◇◇◇◇◇◇

今後の学会運営についてのアンケート調査

正会員各位

通信総会事業計画案の15番目にあるように、今後の学会運営について検討する際の参考にするためにアンケート調査を実施します。下記の学会の財政状況についての記述をお読みにになり、質問にお答えください。これは会員各位の意見動向を把握するために行うものであり、その結果だけで方針を決めることはありません。

現在の財政状況

右表はここ6年間の学会の決算における繰越額の推移です。一般会計の繰越金がここ2年で急速に減っていることがわかります。一般会計は会費収入を中心とするもので、学会誌や会報の発行、研究大会開催など通常の学会活動のために充当します。減った原因は、論文や資料の掲載のために学会誌のページ数が増えたことや春季研究集会の開催時期の変動によって会報の発行頻度が増えたことにあります。

研究活動が活発になっている証左と言えるかもしれませんが、このままの状態を続けると今年度にも赤字に転落するおそれがあります。もちろん、支出を切りつめる努力はいたしますが、何らかの対策を行う必要があります。

	一般会計	特別会計
2002	1,266,782	931,398
2003	※2,954,644	1,391,503
2004	1,424,144	1,865,943
2005	1,442,827	2,267,591
2006	608,456	1,509,555
2007	95,119	1,485,063

※2003年の一般会計は学会誌2号分の発行費用を翌年に繰り越したために増えている。

正会員アンケート

今後の学会運営の方向および財政のあり方についてですが、新たに収入が得られる事業があれば検討したいと考えます。これ以外に、次の3案をつくりました。正会員諸氏にはそれぞれについて、(A)賛成、(B)反対、(C)どちらでもない、のいずれかを選び、通信総会の葉書裏面の該当欄に○印を記入してお知らせください。また、葉書表面の「ご意見欄」にご意見をお書きいただくと幸いです。

	賛成	反対	どちらでもない
1 支出を減らすために活動範囲を最低限のものに縮小する	(A)	(B)	(C)
2 活動範囲を維持しつつ基本的な収入源である会費を値上げする	(A)	(B)	(C)
3 学会誌への論文掲載料を徴収するなど受益者負担を求める	(A)	(B)	(C)

第56回日本図書館情報学会研究大会のご案内

第56回日本図書館情報学会研究大会を下記の通り開催いたします。

会場に予定している帝塚山大学・学園前キャンパスは、京都／大阪／奈良から交通至便の近鉄「学園前駅」の目の前。充実した研究タイムを過ごした後は、普段と異なった遊びに時間を組み合わせていただき、新たな気持ちで日常に戻っていただきたいと考えています。

11月の奈良は「紅葉狩り」など観光シーズンの真っ最中。宿泊予約は「超むつかしい」。お早めにご手配ください。

*開催要領

日程：2008年11月15日（土）、16日（日）

会場：帝塚山大学・学園前キャンパス（帝塚山大学 HP <http://www.tezukayama-u.ac.jp/>）のアクセスマップをご覧ください。

事務局：〒631-8585 奈良県奈良市学園南3-1-3

帝塚山大学・心理福祉学部・地域福祉学科 柴田研究室内

第56回日本図書館情報学会研究大会事務局

TEL：0742-41-4863（直通）、Email：jslis2008@tezukayama-u.ac.jp

参加費：正会員4,000円、学生会員1,000円、非会員6,000円

懇親会費：4,000円（予定）

弁当代：1,000円（大会2日目の昼食；希望者のみー大会申し込み時にお申し込みください）

*プログラム（予定）

11月15日（土）

12:00-13:00 受付

13:00-13:15 開会式

13:30-17:00 研究発表

17:30-19:00 懇親会

11月16日（日）

9:00-9:30 受付

9:30-12:00 研究発表

12:00-13:00 昼食（理事会等）

13:00-14:00 臨時総会

14:00-16:50 シンポジウム

16:50-17:00 閉会式

*その他

・大会2日目の午後には「臨時総会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

・大会2日目のシンポジウムは「情報リテラシー教育に対する図書館の可能性（仮）」というタイトルで行われます。このシンポジウムは一般公開といたしますので研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

*研究発表募集要項

- 1) 別記の<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>にご留意のうえ、お申し込みください。
- 2) 応募資格 筆頭発表者が日本図書館情報学会の正会員か学生会員であること。
- 3) 発表時間 1題あたり発表20分、質疑10分(予定)
- 4) 申込方法 電子メールまたは郵便で「第56回日本図書館情報学会研究大会発表申込書」を大会事務局までお送りください。申し込みが受理された場合は、「申込書」記載の発表題目・発表要旨等を大会プログラムおよびWebページで公開いたしますので、あらかじめご了承くださいませようようお願い申し上げます。
- 5) 申込締切 8月21日(木)
- 6) 申込受理 9月中旬までに通知します。
- 7) 要綱原稿 10月10日必着で、A4判4枚(図版、資料を含む)の印刷した版下原稿を大会事務局まで郵送していただく予定です。なお、電子媒体では受け付けません。
- 8) 留意事項 発表部会ごとに発表用パソコン(Windows VistaでMicrosoft PowerPoint 2007使用可能)とプロジェクタを用意します。これ以外の機器(OHP、ビデオ等)を利用希望(含持ち込み)の方は「申込書」の備考欄に必要機材を明記して下さい。また発表不可能な日が有る場合は理由とともに備考欄にご記入いただきますようお願いいたします。

*アクセス

近鉄・奈良線：学園前駅下車南口から徒歩1分(駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください)

*注

- ・ 宿舎の斡旋はできかねますのでご了承ください。
- ・ 近くにはショッピング街、コンビニエンスストア、ファーストフード店がありますが、土日は大変混雑します。

<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認の上、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員(正会員・学生会員)は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて1回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間)の変更は原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には、要綱提出の1週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする

第56回 日本図書館情報学会 研究大会 研究発表申込書（郵送用）

*共同研究の場合、発表者全員の名前、所属、e-mailを明記してください。

2008年 月 日提出

ふりがな 氏名		正会員	学生会員
連絡先	〒 ----- TEL FAX		
所属			
e-mail			
発表題目			
発表要旨 (1) 背景・目的, (2) 方法, (3) 得られた (予想される) 成果をみれなく, 合計800字程度で記述してください。			
備考 (PC, プロジェクタ以外の 機材使用希望, 発表不可能日等)			
※事務局使用欄	受理番号 ()	受理日	2008年 月 日

提出期限は8月21日（木）です。郵送または電子メールで大会事務局jslis2008@tezukayama-u.ac.jp宛にお送りください（添付ファイル不可）・電子メールでの提出書式（テキストファイル）は電子メール版会報で配布します。学会サイト<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>からも入手できます。

2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議のご案内

日本図書館情報学会は、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科、筑波大学知的コミュニティ基盤センターと共催で、社会の情報化とグローバル化に対応できる情報専門職の養成と新たな情報環境を踏まえた図書館・情報教育プログラムの構築に向けたアジア地域の協調を目指して、各国の研究者・教育者・実践者と課題を共有し、解決策をともに探求するため、2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議(A-LIEP 2009)を以下の要領で開催いたしますので、ふるってご参加ください。

■メインテーマ：図書館・情報教育の国際化

■日 時：2009年3月6日(金)～8日(日)

■会 場：筑波大学

■協賛：情報知識学会；三田図書館・情報学会；情報メディア学会

■後援：国立国会図書館；国立情報学研究所；日本図書館協会

■プログラム概要

・基調講演：長尾真氏(国立国会図書館長)

・投稿論文(英語)発表

・シンポジウム「図書館情報専門職教育の国際化と将来展望」

■参加費：主催・協賛学会会員：25,000円；一般：30,000円；学生：20,000円

※会費には資料代、バンケット参加費、7日・8日の昼食代を含みます

■投稿受付：以下のテーマによる発表(英文)を募集します(締切2008年8月30日)

◆図書館・情報教育

- ・新たな情報環境を指向する図書館情報教育機関の連携
- ・図書館情報分野の卒業生による情報に関する協力関係の構築
- ・アジア太平洋地域の状況を踏まえた図書館情報教育への挑戦
- ・リーダーシップとマネジメントの役割を担う図書館情報分野の人材育成
- ・アジア地域における図書館情報領域の教育プログラムの質保証と認証
- ・図書館情報教育におけるeラーニングを支援する資源共有と教材の公開
- ・研究成果を踏まえた教育

◆図書館情報領域の研究

- ・図書館情報領域における複合領域アプローチによる研究
- ・情報技術と知識マネジメント
- ・地域の状況を踏まえた図書館情報領域の研究
- ・エビデンスに基づく図書館情報領域の研究
- ・実践に基づく図書館情報領域の研究
- ・アジア太平洋地域の図書館情報現場における進行中および完了した研究

◆図書館情報領域の実践

- ・図書館情報領域における研究と実践の統合
- ・図書館情報領域の研究に対する実践者の観点
- ・図書館情報専門職の継続教育がサービスの品質にもたらすインパクト
- ・教員・訓練者としての図書館情報専門職
- ・生涯学習における利用者教育と情報リテラシー
- ・デジタルコミュニケーションに秀でた図書館情報専門職の養成

■論文投稿方法の詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください

<http://a-liep.kc.tsukuba.ac.jp>

研究助成金の公募

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は次の要領で募集を行います。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

総額 10 万円を限度として、1 件ないし 2 件に交付予定。

2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。なお、2008 年度は、科研費等の公的研究助成の取得が難しい場合を配慮するので、例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」などの事情があれば、申込書の所定欄に記入すること。
- b. 2009 年 3 月末まで研究を終了させていること。
- c. 2009 年 3 月 31 日までに所定の用紙によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。ただし、領収書の提出は不要である。
- d. 研究終了後 3 年以内(2012 年 3 月まで)に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。
* 『電子メール速報版 No. 13-F1 2008 年 4 月号』では「2011 年 3 月まで」となっておりましたが、“研究終了後 3 年以内”ですので「2012 年 3 月」誤りです。訂正とともにお詫び申し上げます。

3. 選考

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に掲載する。

4. 応募方法

「2008 年度図書館情報学会研究費助成申込書」に必要事項を記入の上、下記の宛先に郵便または電子メールで送付すること。申込書は学会ホームページの研究助成のページ(http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutjslis_3.html)から MS-Word ファイルおよび PDF ファイルで入手可能である。電子メールの場合は、添付ファイルで送付すること。電子ファイルでの提出が望ましい。

《郵送先》

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学文学部 岸田和明 気付
日本図書館情報学会研究委員会

《電子メール》 jslis-kenkyu@ml.keio.jp

《研究助成応募要領ウェブページ》 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutjslis_3.html

5. 応募締切

2008 年 6 月 30 日(月)必着

学会賞及び学会奨励賞候補の募集

2008 年度の日本図書館情報学会賞及び奨励賞の候補を下記のとおり、募集します。会員各位からの応募もしくは推薦をお願いいたします。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞ならびに副賞賞金
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞ならびに副賞賞金

2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞 本学会の正会員

(2) 日本図書館情報学会奨励賞 本学会の正会員・学生会員

3. 選考対象業績

(1) 日本図書館情報学会賞

正会員によって2006年度もしくは2007年度に日本語もしくは英語で発表された 図書および論文

(2) 日本図書館情報学会奨励賞

- a. 『日本図書館情報学会誌』第53巻第2号から第54巻第1号までに収載された、本学会正会員もしくは学生会員による論文。
- b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの。

4. 選考

学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

5. 授賞

2008年度臨時総会(2008年11月16日)において授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞(奨励賞) 応募(推薦)用紙」(所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい)を7月10日(木)までに必着で郵送すること。なお、応募者・推薦者は非公開とする。

- a. 著者名
- b. 著作名(書名, 論題名, 等)
- c. 出版社/収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 応募(推薦)者連絡先
- e. 応募・推薦理由

7. 郵送先: 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学文学部 糸賀雅児 気付
日本図書館情報学会賞選考委員会

日本図書館情報学会表彰規程

第1条 図書館情報学の発展に貢献した会員を表彰するために、日本図書館情報学会賞(以下、学会賞とする)ならびに日本図書館情報学会奨励賞(以下、奨励賞とする)を設ける。

第2条 学会賞および奨励賞の受賞対象を次のように定める。

- 1) 学会賞: 学術研究上特別に優れた業績を上げ、図書館情報学研究の発展に寄与した者
- 2) 奨励賞: 学術研究上優れた業績を上げ、将来の活躍が期待される若手研究者

第3条 学会賞の受賞者は本学会の正会員、奨励賞の受賞者は正会員および学生会員とする。

第4条 学会規約第12条に基づき常任理事会に学会賞選考委員会を設置する。

- 2 学会賞選考委員会は各年度に1回、理事会に対して学会賞および奨励賞の受賞候補者を推薦し、理事会はその議を経て受賞者を決定する。
- 3 学会賞選考委員会は副会長、編集委員長、研究委員長および次項で定める選考委員長が指名した若干名の正会員より構成される。ただし、副会長、編集委員長、研究委員長が選考対象者(共同研究者を含む)となったときは当該業績の選考には加わらない。
- 4 学会賞選考委員長は副会長が務めるものとする。ただし、前項の規定により副会長が選考に加わらない場合には、研究委員長が選考委員長を代行する。

第5条 本学会正会員は、学会賞および奨励賞を選考する際に候補となる会員の業績を推薦することができる。

第6条 学会賞および奨励賞の受賞者に対して、それぞれ賞状と副賞賞金を授与する。

付則

1. 本規程は2008年4月1日より施行する。

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

投稿はいつでも受け付けております。会員の皆様、どうぞ、ふるってご投稿ください。投稿前には以下の文書をご確認ください。

- ・投稿規程ならびに執筆要綱 第52巻2号(2006年6月号)
 - ・論文投稿にあたってのチェックリスト 第53巻1号(2007年3月号)および53巻2号(2007年6月号)
- ※学会ウェブサイト(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>)にもこれらの文書が掲載されています。

『日本図書館情報学会誌』投稿先について

『日本図書館情報学会誌』の投稿先・連絡先は以下の通りです。

〒305-8550
茨城県 つくば市 春日1-2
筑波大学 大学院 図書館情報メディア研究科
吉田右子 研究室 気付
日本図書館情報学会 編集委員会
連絡先：yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

なお2008年8月1日から2009年3月31日までは、下記に変更されますので、投稿される会員は間違いがないよう、ご注意ください。

<2008年8月1日～2009年3月31日までの投稿先・連絡先>

〒108-8345 港区三田 2-15-45
慶應義塾大学 文学部
田村俊作 研究室 気付
日本図書館情報学会 編集委員会
連絡先：tamaran@slis.keio.ac.jp

2008年度(今年度)の会費納入のお願い

同封の振込用紙により、2008年度(今年度)分会費について所定の金額を納入くださいますようお願い申し上げます。

■日本図書館情報学会会費規程：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/kaihi.html>

2007年度(昨年度)以前の会費納入のお願い

2007年度(昨年度)までの会費未納の方は、すみやかに会費を納入くださいますようお願い申し上げます。

■振込先：郵便振替口座:00160-5-45759(口座名義：日本図書館情報学会)

会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更につきましては、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」(下記 URL)にご記入いただき、事務局までメールでお送りください。なお学会への論文投稿等で緊急な連絡が必要な場合、事務局にお届けの個人情報を利用してご連絡を差し上げる場合があります。

■会員情報変更申請書：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

■会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

電子投票制度について

昨年度、日本図書館情報学会では、通信総会、役員選挙において、郵送による投票に加えて、電子投票制度を初めて導入しました。これは(1)投票手段を増やすことによって、投票率を少しでも上昇させることを主たる目的とし、(2)将来的に電子投票システムへ完全に移行することができれば、投票実施コストの大幅な削減につながることを見据えたものでした。しかしながら、昨年度通信総会において、

正会員数(選挙権者数)は一昨年度より増加したにもかかわらず、投票率だけでなく、投票者数自体も減少するという結果に終わりました。また、現時点では、完全な電子投票への移行は時期尚早であると考えられ、郵送投票と電子投票を並行して行うためのコストは、郵送投票のみを行う場合よりも大きいという状況です。加えて、現在、学会が緊縮財政を強いられていることから、今年度通信総会では、電子投票を実施せず、投票率の向上を含めた、公正かつ効率的な電子投票制度の在り方について、常任理事会にて検討させていただきます。

図書館情報学文献目録DB(BIBLIS)について

BIBLIS はこれまで科学研究費補助金(研究公開促進費)によってデータを新規作成してまいりましたが、諸般の事情により、この補助金の獲得が難しくなりました。今年度はデータ更新を行いませんので、別刷等を文献目録委員会へ送付なさないよう、お願い申し上げます。BIBLIS の今後については、常任理事会にて検討いたしますので、しばらくお待ちください。

メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを随時発行しています。講読ご希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp まで電子メールでお申込ください。

事務局受領資料リスト

・大串夏身『課題解決型サービスの創造と展開』青弓社、2008
※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。

関連行事のお知らせ

第25回医学情報サービス研究大会(つくば大会)のご案内

第25回医学情報サービス研究大会(MIS25)を下記のように開催します。

- 開催日：2008年7月12日(土)～13日(日)
- 会場：筑波大学春日キャンパス講堂 ほか
〒305-0821 茨城県つくば市春日1-2
つくばエクスプレス終点「つくば」駅下車、A2出口より徒歩10分
- 共催：筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
- 主な行事：基調講演「大学図書館の未来」 植松貞夫氏(筑波大学附属図書館長)
継続教育講座 石井啓豊氏(筑波大)、松林麻実子氏(筑波大)
一般研究発表(口演、ポスター)
他に企業展示、図書館見学等
- 大会参加費：6月12日までの申し込みは3000円、以降は3500円。学生1000円。
- 参加申し込み方法、その他詳細は大会ホームページ(<http://mis.umin.jp/25/>)を参照ください。
- お問い合わせは、大会ホームページの「お問合せ」フォームから、または、下記事務局宛に郵便にてお願いします。
〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
岩澤研究室気付 第25回医学情報サービス研究大会事務局

情報メディア学会第7回研究大会のお知らせ

情報メディア学会では「変革期の情報メディア—記録メディアの歴史と保存」を基調テーマにして下記の要項で第7回研究大会を開催します。参加希望者は、下記によりお申し込み下さい。非会員の参加

も歓迎いたします。

■基調テーマ：変革期の情報メディア

■日時：2008年6月28日(土)10:00～17:30

■会場：東京大学山上会館

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1

■プログラム概要

・基調講演：高山正也氏(国立公文書館)

・特別講演：若松昭子氏(聖学院大学)

・総会・展示出展者による報告・論文賞表彰・ポスター紹介・懇親会

■参加費：会員 1,000円： 非会員 1,500円

※会費には資料代を含みます。(懇親会参加費4000円)

■参加申し込み方法：氏名，所属，電子メールアドレスを明記して，2008年6月23日(月)までに，電子メールで本会事務局までお申し込み下さい(当日受付も行いますが準備の関係上なるべく事前申込をお願いいたします)。

■参加申込方法の詳細は，学会ホームページをご覧ください

<http://www.jsims.jp/>

■申し込み先・問い合わせ先

〒305-8550 つくば市春日1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科内

情報メディア学会事務局 新保史生

e-mail: office@jsims.jp Fax: 020-4623-1228